中学版

TOYO NEWS

第24号

2026年11月14日発行

本校は「考えるを、学ぶ。」をスローガンに、学力と人間力を高め、社会に貢献する人財を育成する学校をめざしています。中学校にコース制（一貫SPコース／一貫SAコース）を導入し5年目となりました。生徒と教職員が共に成長し続け、常に進化し続ける東洋大学附属姫路中学校のさまざまな取り組みや最新情報を「参加生徒の声」を中心に「TOYO NEWS」としてお届けします。

ブライトン セカンダリー スクールとの国際交流



9月28日(月)～10月3日(土)の6日間、オーストラリアのブライトン校一行が本校を訪れ、温かい交流が行われました。滞在中、生徒たちは書写山圓教寺や姫路城の見学、折り紙や茶道・書道などの伝統文化を体験しました。
10月2日(金)の高校体育祭では、本校生とともに競技へ参加し、スポーツを通して国境を越えた深い絆を育みました。

私たちが3月にオーストラリアを訪れた際、ブライトン校やホストファミリーに温かく迎えていただいたように、今度は私たちが楽しませる番だと思い、来校までに多くの準備をしました。久しぶりにバディの元気な顔を見たときは、本当に胸がいっぱいになりました。英語で話したり、日本語を教えたり、一緒に笑ったりする中で、言葉を通してつながる喜びを実感しました。一方、滞在中にはコロナの感染が広がり、バディの体調管理に悩むこともありました。それでも、お互いを信頼し合いながら乗り越えることができました。言葉の壁を越えて築いたかけがえのない友情は、海を越えても変わりません。この経験を胸に、これからも自分の英語に自信を持って、言語や背景の違う人でも臆せず話し、まだ見たことのない世界へ踏み出していきたいです。

鎌田 汐音（高2）

今回僕たちはオーストラリアにあるブライトン校の生徒の方々と一週間の交流をしました。僕自身もホームステイに一人の生徒を招き様々な経験をしました。この一週間の中で様々なことをしたのですが、特に記憶に鮮明に残っているのは日本人、オーストラリア人の合計14人程度でボーリングをしたことです。少し離れた場所にあるので電車でボーリング場まで行ったのですが、乗る電車を間違えて結局2時間程度しか遊べなかったのはいい思い出です。メインのボーリングでもワイワイとみんなで絆を深め、とても充実した時間になりました。別れはすごくつらかったです。絶対に将来また会う！と思えるような最高の友達をオーストラリアに作ることができました。

渡部 琉絆（高2）

Memories







姫路研究レポート（1年生）　キャリア・フロンティア　～ 探究学習 ～

姫路研究は、中学1年生が最初に取り組む探究学習です。グループに分かれ、姫路を中心とした地域の文化・歴史・企業など、自分たちで選んだテーマについて協力して調査し、現地でのインタビューなどをおこないました。各班スライドにまとめてクラス発表に挑み、代表班は学年発表もおこないました。

私は姫路研究で、グローリー株式会社を訪問しました。本社の方々に向けての質問を考える力、話を聞く力が自分の中で成長したと思います。そして製品開発への歩み、過去の技術から今後の目標など、様々な業務の理解を深める事も出来ました。これらの学びだけでなく、仲間と協力して問いを深め、答えを探し求める楽しさも経験し、仲間との絆を深める事も出来ました。これらの経験は大切な学びだと思います。この学びを今後の新たな成長に繋げたいと思いました。

大下 紗弥（中1）



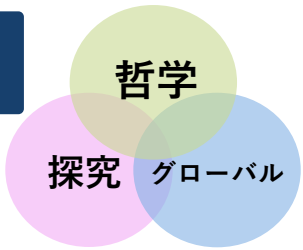
◀学年発表の様子

姫路研究では、調べたい場所を実際に訪れ、企業の方から直接話を聞くという貴重な体験をしました。インターネットで調べるだけではわからない魅力や、歴史についてより深く学ぶことができ、実際に足を運ぶことが大切なんだと実感しました。質問を考えたり、話を聞いてまとめたりすることは苦労しましたが、初めて知ることが沢山あり、とても楽しかったです。チームのみんなと協力して学べたことや自分で質問を考え、企業の方に直接お聞きする事ができたのが一番印象に残っています。これからは、自分から積極的に学ぶ姿勢を大切にしたいです。

山本 佳奈（中1）



“考える”を学ぶ「キャリア・フロンティア」の取り組み



東洋大姫路の特徴的な教育プログラム「キャリア・フロンティア」では、「自ら考え、自ら選択する」ことを念頭に置いた教育に取り組み、確かな学力と豊かな人間力を身につけます。

哲 学　哲学集中講義

7月28日(火)、29日(水)に、開智国際大学の西山渓先生をお招きし、哲学集中講義を開催しました。講義では、学年ごとに異なるテーマが設定され、哲学対話が行われました。哲学対話とは、「皆で一緒に考えを深めること」を目的とした授業です。それぞれの意見の「似ている点」「違う点」などを考えながら、「人生で一番大切なもの」の本質を考えます。

哲学集中講義で、普段ならあまり考えないようなことについて、真剣に考えることができました。とくに、「刑務所では自由なのか」という質問が難しくて面白かったです。同じことについて考えているのに、人それぞれ考えが異なり、新しい気付きがふえました。今後も当たり前のことをなんでだろうと考えて、もっと気付きを増やしていきたいです。　宮脇 琉渚（中1）





◀哲学集中講義の様子

探 究　京都文化研修（３年生）

探究学習として「京都の伝統」をテーマに調査している中学3年生が、6月5日(金)に京都御所・有斐斎弘道館・河村能楽堂にて研修を行いました。研修で学んだことを個人でポスターにまとめ、7月30日(木)にポスターセッションを行いました。

京都文化研修で京町家について調査し、気候に合わせた建築や坪庭などの生活の知恵、現代での新たな活用法まで幅広く学ぶ経験ができました。この学びを通して、伝統を単に保存するだけでなく、時代に合わせて活かす大切さを実感しました。今後も地域の歴史や文化にも関心を持ち、その魅力を発信して次世代へ繋げていきたいです。　村上 美結（中3）

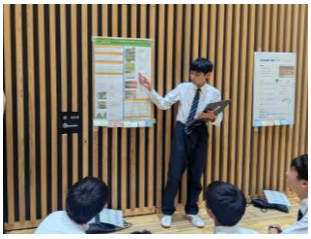
京都文化研修では、所属する環境共育部の視点から京都市と姫路市の動植物や環境の違いを調査しました。現地での観察や考察を通し、都市化が生態系に与える影響や、歴史・文化と生物との深いつながりを実感しました。この経験で培った探究心を活かし、今後の部活動や環境問題への学びに繋げていきたいです。　伊藤 駿（中3）





◀京都研修の様子





◀ポスターセッションの様子

グローバル　フィリピンとイギリスで 英語や異文化を学ぶ！

セブ島での11日間にわたるサマーキャンプには14名の生徒が参加しました。1日7コマのマンツーマン英会話レッスンを中心に、フィールドワークやアクティビティを通じて、実践的な場で英語を使う力を身につけました。

▼フィリピンの様子



私は夏休みに11日間フィリピンに語学研修に行きました。中学2年生の参加者が自分だけだったので始めは緊張と不安がありました。しかし、高校生の先輩が声をかけてくれたので、不安な気持ちはすぐになくなりました。1日目は、自己紹介と授業の時間割が配られました。２日目から授業が始まり、最初にレベルアップテストがあります。それは筆記テストではなく、先生との会話などスピーキング中心の問題だったので驚きました。授業はネイティブの先生と一対一で緊張しましたが、先生方はみんな面白かったので、楽しく学ぶことができました。11日間の中にはアクティビティの日もあり、みんなで海に入るなど良い思い出ができました。毎日英語で喋らないといけなくて大変でしたが、この経験を活かして、今後の学校の勉強や英検取得にも繋げていきたいと思います。　大塚 真宥（中2）

英国の名門私立校「ラグビースクール」での語学研修は17日間にわたっておこなわれ、5名の生徒が参加しました。レベル別の英会話クラスで学びながら、毎日さまざまなアクティビティに取り組みました。



イギリスの様子▶

入試関連イベントのご案内

◇プレテスト報告会・第４回学校説明会　2026年11月28日（土）　9：30～11：30
◇入試直前授業見学会・個別相談会　2026年12月25日（金）　9：30～12：00
◇入試結果報告会・校舎見学会　2027年 3月 6日（土）　9: 30～11：00

◀詳細はこちら

発行：東洋大学附属姫路中学校
〒671-2201
兵庫県姫路市書写1699
TEL (079)266-2626（中高共通）